よくも思はれぬ狀態である|村税が賦課される

など對策を講究するなんと一焉である、其邊動物を何等

も知れない、どうこう仕様。らうが、そんな事も闘せず

ある、

愧死に値する事だ。

考ふるものは百人に一人も

撰ふ處がない、

心理狀態で

中には慷慨悲憤のある。

居る、彼等は何も蚊も他力間としての價値など、てん|て居るに過きない、指導的|

一つて、一日(一をごまかし

地位にある者が皆これだい

が殆んごない、皆々ノンギ生きて居ればよい、世の中|其時 | への皮層的考察によ

ば死ない、 い鈍物であ

トゥサン振りを發揮してに只在る丈の事である、人

本願である、自分の首をとで考へて居ない、其變り

農民の大抵は全く、

無知

言ふ、

然し之を如何にす

堅めてやらねばならぬ、

ある道を踏んで、

一較して多いの低

いのとは

長く根氣よく、

細に調査

し、人の失敗した道をよけ

た處で納税の微收が容易で

にもお目出度い人間ではな

|層其感が深い、賦課し|は全く無關心で居る、余り

ある。

い、差押への上競賣處分いか。

い付する者も多くなるかい

らねばならぬ事を余議なく

する位で、いくら儲かつて

安いのと言つた處で、十圓

しである、

ってよい、繭が安いの米が

自分の作物の生産費を計算

も從つて大々的節約を計 入の激威を豫想され、歳 村と言はず、不况が祟つて

編成期である、

町といはず 於ける豫算

來る者は一

月は各町村に

時

漫語

なのかも知れない、 等の感覺は全く、

痴鈍反應|て言外である。

然し是如何にせんかなどは全く以

報

である。

然し一般農民は、

ら起きるのが目醒める事と

|先づ一つもないと言つてよ|もの、

財政など如何に足取を

の屁にも及ばない、

よく叫ぶが、是は屁ひり虫は

いくらか、統

計などは正

|如何に仕様かと考へるもの|る、食つて居れ

てざれ丈苦しいのか、之を|思ふより知らな

廣告料 定價

編輯兼印刷發行人 **發行所福鴻縣石城郡磐崎村大字** 酒井秀吉

一か月金二拾錢一部金十錢

毎月二回 別色刷 四十二字 十五日卅百 俊 宇語 が幾人あるか、昔斗りを辿民をこれ事とし、天職とし り遣つてもまづい。よくこの無為無能なるには八千万 め時代思潮の歸趨を知る者 經濟學を讀み、政治論を修 には余りにも人

|される、別けて農村に於て|居るのか損をして居るのか|も知れないと思はれる程で|ある、無報酬の奉仕も場合|自治體は出來る文豫算を切|湾國難の行詰りの結果 |より五圓の方が少い位に感|たものでない、困備も窮迫|譽名職だからとて金持ち斗|らぬ、昨今の深刻なる財界|般教護法實施の上奏さ |で其使命を果し得ないのだ||考べて、本當のよい村にし||ては世の中は闇だ、 人もないと言人の御座なりですます。根田の、たまげた亀の子の様 ある、收入はいくらになるり世間を知らぬ、 |も、事實ぞれ程でないのか||りはない、人材は貧者にも||不况經濟國難に對し市町村||た責任ある政治家なら |やう等毛頭心にない、其時|も緊縮づくめでは手も足も 真の村の狀態などは不明で|理强ひは道理に欠ける、 據のある方針がない其日暮にすくんで居ては冬眠の出 自治も糞もあつ一來ぬ人間は乾干しになる。 遠い將來迄不景氣だろうと何 義理があり、醴があり、 には出來の相談だ、人には 徒輩も困 ||も足も||は更に吊れ返らざるを得な||由は抑も那邊にあるが、||何も蛟||送る國民の馬鹿々々しさに||出來得ないと言ふ政府の 余て居る、然るに縣や國は如る重大責任觀念より骸 無况打開資擔輕威の方を講し口、輔粥の責を盡す能 何少しも人件費の削減に手闕下に請ひ、罪を國民 |實際に即した仕事をして居はあるまいと思う、特 | り詰め人件費をへらして不||襟を惱まし奉りては相 も村會より國民經濟生活 |選良など云って議政壇上に|費の| を觸れて居らんでないか、 い、實を言へは國會も縣會 の一衆兩院議員も本氣の沙 さなければならぬ、然 して又削威を建議せさ

られても平氣で居る連中か|に迷惑をかけ樣が、人が困|况んや他の者に於ておやで|然りとなる場合もある。 目醒めよのとか、生産はいくらか、借金り者である。 朝床か|當に算出されて居るものは|經驗のあるもの、學問 物事をよく秩序立でふやる一立たうとする人間は、 には、一朝一夕で出來なら[褒貶を度外視して現代人と]消しだのと議會はさながら |動かして居るのか判らない|のとは大に心の向ふ處が違|列し世界環視の的に立つて を洗つて、脳味噌を入れ |しても研究を忘れてはなら||闘犬場の如く吠え合ひ、噛 考へた事る其地位に至 ふ、色々の事を修めた人の えてそして示導的の地位に を進める事が必要だ、 頭になるには其丈自分も頭 いもの、各々其然らざるも 世間の人情道義に厚 毀譽な言をすべらかして失言取言ふものなきに至ること かでありますなど一國の首其場に安んして業を勵 せにする事が出來得ない然 相代理にもあるましき勝手を營み一人の生活に不 |軍整理がどうだの國防に缺||王 居る國家の旋設は一日も忽 陥なきは御批準によりて るに國縮會議がどうだの陸 我國も今や三大强國の班に 特望して居るものは先つ第 國家の最も急を要し國民の彼等は飽迄政權に嚙り 一に人件費の大削減である 明飢る者なく、 王道政治である、畏く と合致すべきものであ 政黨政治は立憲政治の る眞の立憲政治は王道 る覇道政治に逆轉し しも恥つる色がない今 て暴虐なる政治を行っ を發揮しない、昔の暴 一道政治は天下の民 凍る者な

彼等は議會開會の劈頭

現狀

は如何、

經濟國難の爲路の大官を傷けんと策謀し

慨世子曰く、 我國の經國濟 政府も政府だが議員も 文に何と書いて奉答し 彼等は上天皇陛下

ね合はして方針を立てるが |のでも駄目だ、新しい事斗|て身命をも睹すべき政治家|し奉りては確に大不敬

なき我利我利盲者を國家の來の經濟國難に處し、人件な、否こんな政治家の資格るものである、此の建國以同胞悉く吊れて居るであらる不信の行為を敢てして居の無為無能なるには八千万犯し下國民に對しては大な 錢も削減すること るい貴而 理 かう

に 骨 は 濟 御ば 展 經 なにつ 過 汰で

はふ もと足み 實基民明がを生 人る政う虐本日で付るも。治あな顧の少きに

に對に上御一人を狙ひ奉り、要 ……(以下次號)……議員後萬ありや、思想國難の爲や………?

料左の通り低減致候間御參考迄申上候本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並 病院案內

> 往 診

院科…一旦 料も之れに準じ低減致候間此段申(但) シ 平 町 内) 博士に限り (世 シ 平 町 内)院長及其他の(一 般金参圓也) 本一會員般 金壹圓五拾錢也

添候也 行地方往診 (各科専門醫擔當)

醫學博士 士長 療科 波

八科

女子泌尿科

內整皮 小 職形泌尿 兒 科科科 科

賀難 濟 H 會 治陸

本院主管

城磐 平町 電話六四一番

●良品廉賣品勝る商略なし 磐城セメント會社特約店

物問屋 磐城平、 振替口座東京一〇九五六番 Ŧi. 體話九番 九九香

敏捷は釜屋の生命

る議場の混亂、

X

の摑み合ひ、

ひ國政を密議すべき神聖な 揚足の取り

礎を作らせ給はつたの

のか